

(仮称)さいたま市農業交流公園 提案概要

本市産の農産物、特にヨーロッパ野菜をフックに、買い物、食事、遊び、学習等、様々な体験ができる、持続的な都市と農地の融合の実証の場「見沼アーバンアグリカルチャーパーク(UAPM=URBAN AGRICULTURE PARK MINUMA)」の創造を目指す

農業交流施設(外観)



農業交流施設(内観)



- 飲食施設、売店(直売所)と地域住民団体の一般利用等を想定した会議・研修室等を一つの農業交流施設に一体的に整備
- 屋外カフェ、イベント等の利用や雨の多い季節の多様な活用が可能な多目的アーケードを整備
- 周辺の生産者と連携し、年間を通じた農業体験プログラムやツアーを実施
- 市内産農産物、県内産の農産加工品等の陳列販売
- 市内産農産物を使った軽食(そば、うどん等)、カフェメニューの展開
- 園内を「農業見学ゾーン」、「多目的広場ゾーン」、「ピクニック広場ゾーン」、「植物園ゾーン」などで構成し、相互に連携しながら全体として魅力の高い公園を創出